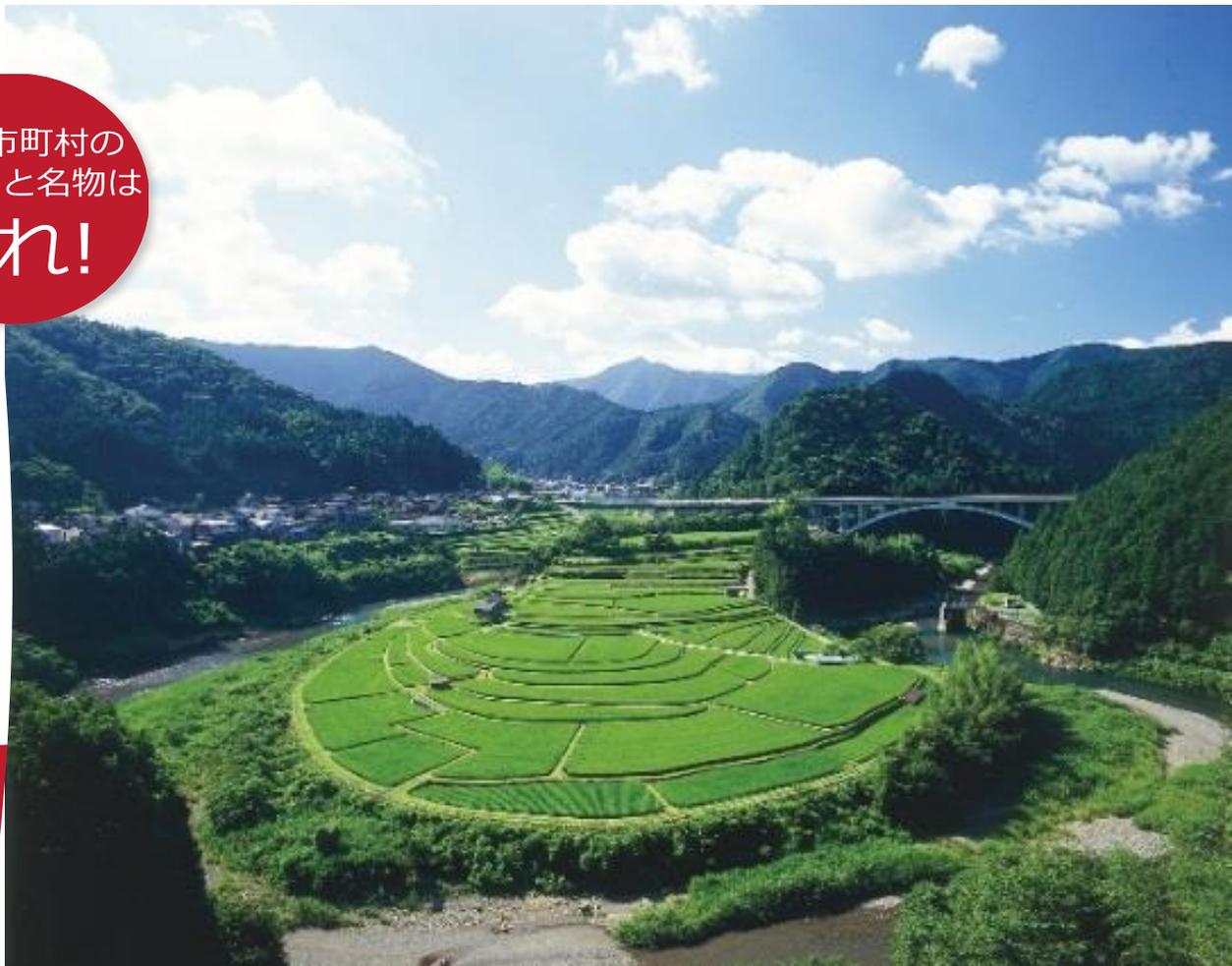


中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



和歌山県有田川町
が応援するふるさと名物

有田川町清水産「紀州材」木工品
～体験・体感・感動の「学び」を
通じて未来の担い手を育成する～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

**地域の
プロフィール**

**豊かな山脈が生み出す農山村景観を持つ
有田川町清水地域**

有田川町清水地域は和歌山県のほぼ中央部に位置し、町土の約76%（面積26,921ha）が森林です。東は紀伊山地、北は長峰山脈、南は白馬山脈と標高800～1000m級の山々に囲まれ、そこから生み出された清流、渓谷の美しい景観を形成しています。特に、平成25年には蘭島（あらぎ島）と周囲の景観が「蘭島及び三田・清水の農山村景観」として国の重要文化的景観にも選定されました。

この地域では早くから杉や檜を伐り出して林業が発達し、ぶどう山椒、保田紙などとともに基幹産業のひとつとしてまちの発展に寄与してきました。現在、森林地域の多目的な活用を図るため、森林機能を増進する造林、間伐、保育などが進められています。

和歌山県有田川町清水



主な地域資源

■ 有田川町清水産「紀州材」

温暖多雨な恵まれた自然環境の中で成長した清水産「紀州材」は、細かな手入れにより長い年月をかけて育てられました。紀州材は、色合いやつやが出る、目合いが良く、素直な木で狂いが少ない、強度耐久性に優れているといった点で評価され、「木の家」作りにふさわしい木材として活用されています。

また、江戸時代には下流域にみかん栽培が発達し、みかん木箱用の木材需要が大きく、木材産業が活気づきました。特に色つやの良い杉の木箱が銘柄品とされ重用されました。近年、その美しい色つやや目合いを活かした木工品づくりが行われており、地域の紀州材産業の再活性化が期待されています。



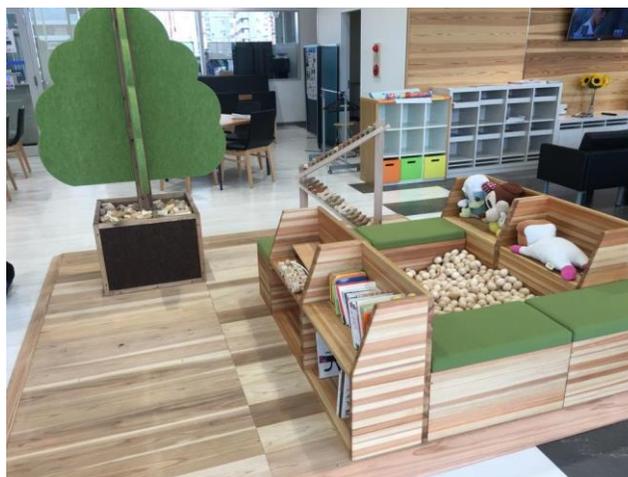
応援する
ふるさと名物

■色つや・目合いを活かした 清水産「紀州材」木工品

有田川町清水地域では、清水産「紀州材」ならではの目の細やかさや色合いの良さといった特徴を活かし、森林所有者が関わって伐採した原材料を使用する木工品を製造販売しています。森林・林業教育や「木育」活動をセットにしながらか紀州材を使う意味やストーリーを伝える活動を行うことで、過去には生活に密着し、身の回りの物の大半を占めていた木材の意義を伝えていきます。同時に、近年の消費者、特に子育て層の健康志向や安全性への意識の高まりに響く販売活動に取り組んでいます。



清水産「紀州材」わりばし



清水産「紀州材」キッズスペース



清水産「紀州材」フォトフレーム

有田川町の取り組み（1/2）

■ 有田川林業活性化協議会

有田川町では、平成27年度より清水地域の林業・木材産業関係者が集い、地域内の事業者、学識者、行政が一体となって地域の木材利用のあり方を考える「有田川林業活性化協議会」を開催しています。木材販売戦略会議を開くなど、地域林業の活性化に取り組んでいます。



■ 町内公共建築施設における紀州材利用促進

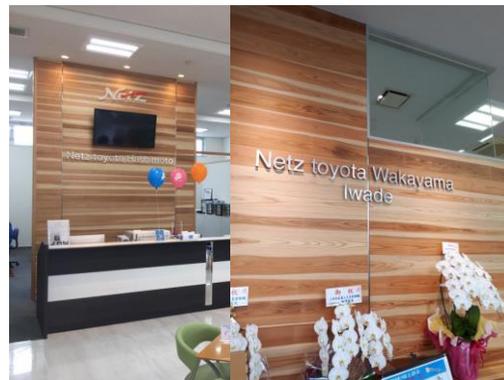
有田川町では、町有建築物について、木材の利用推進に関する指針に基づき紀州材を利用するよう努めることとし、各施設や公共物への積極的な紀州材利用を推進しています。



有田川町の取り組み (2/2)

■ 清水産「紀州材」のものづくりの推進

有田川町内では、従来の建築物の構造材への紀州材利用のみならず、内装材や割箸や薪、備長炭など、その他木製品への加工が行われています。地域内で育まれた紀州材の付加価値向上に積極的に取り組んでいます。



■ 「緑育」・「木育」による 未来の「紀州材」生産の担い手・消費者の育成

未来の「紀州材」の消費者と林業の担い手を育成する観点から、「緑育」「木育」に取り組んでいます。次世代を担う子どもたちに対して森林学習の機会を提供し、森林整備の必要性を認識してもらおうきっかけ作りを積極的に進めています。



町長メッセージ

■ 有田川町長から

有田川町は、豊かな自然に恵まれ、幾多の歴史文化と伝統に彩られた農林業が自慢のまちです。有田川を中心に高野龍神国定公園や生石高原県立自然公園、日本の棚田百選に選定されている「あらぎ島」など、豊かな自然景観が広がっています。

有田川町では、将来像として「～川が結び、川が育む、森とまち～ 人が集い、想いを紡ぎ、新しい流れをつくるまち」を掲げ、行政と住民がともに知恵を出し合い、新しいチャレンジを続けていくまちづくりを推進しています。

今回は、体験・体感・感動の学びを通じて育む、有田川町清水産「紀州材」をふるさと名物として応援することを宣言いたします。



有田川町長 中山 正隆